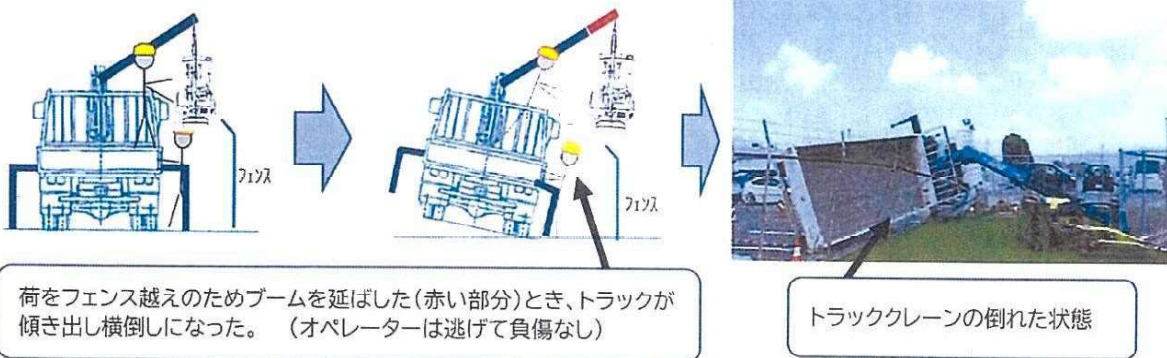


## トラッククレーン転倒事故

1. 日 時 2020年  
 2. 場 所 従業員用〇駐車場  
 3. 請負関係 (元請)→(1次)→(2次)  
 4. 被害程度 駐車場及び フェンス一部破損(負傷者なし)  
 5. 発生状況

- ①トラッククレーンの荷台からミニショベル(1.69t)をフェンス越しに降ろすため
- ②クレーンのブームを伸ばした時
- ③トラッククレーンが傾きだして、トラックごと転倒し
- ④駐車場フェンスと 鉄塔のフェンスを一部破損した(負傷者なし)



荷をフェンス越えのためブームを伸ばした(赤い部分)とき、トラックが傾き出し横倒しになった。(オペレーターは逃げて負傷なし)

トラッククレーンの倒れた状態

### 6. 協力会からの お願い事項

問題点		再発防止対策
作 業	・クレーン操作の合図が決まっていなかったため『ブームを起こせ』を『伸ばせ』と聞き違えて操作した。	・作業要領の中にクレーンオペ合図の取決めを明記し、現場での朝礼、KY時に読み合わせと周知を行なう。
設 備	・1.69tのバックホウをフェンス(2.3m)を超えて据え置くには4tトラッククレーン能力の限界値に近い選定であった。	・ <u>余裕をもったクレーンの選定</u> を行なう。 ・クレーン操作時は耐荷重計を確認しながらクレーンオペを行なう
管 理	・工責と作責の間での事前打合せ、工責の現場環境の確認が不足 ※荷の荷重、作業半径、フェンスの高さ等を実測せず施工方法を決めている。	・現場の事前打合せ時に、周辺環境の確認と実測を行ない、作業工程ごとのリスクに応じたより安全な施工方法や機材の選定を行なう。 <u>(リスクアセスメントの充実)</u>